

要 請 書

本市における後期中等教育の振興に対しまして、特段のご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市にあります島根県立の江津高等学校、江津工業高等学校の入学者数は、昨今の少子化の影響等から、定員を下回る状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、本年1月に「江津市県立高校あり方検討会」を設置し、今後の県立高校のあり方について4回の検討会を開催しました。

3月27日に検討会会長から検討結果報告を受け、その報告書の中で、本市として取り組む事項と合わせて、下記の項目について島根県教育委員会へ要請を行うよう意見をいただいたところであります。

つきましては、貴委員会におかれましては、下記事項について、格別のご配慮をいただきますようお願いいたします。

記

1. 新たな施策による高校の魅力化・活力化について

①県外4名枠を撤廃して、積極的な県外生徒の受け入れを図られること。

②中山間地域以外も対象とするなど高校魅力化事業の拡大を図られること。

2. 情報発信について

各校が情報発信の方法を見直し、新たな情報発信に取り組むよう支援されること。

3. 学級数について

上記1.2の取り組みの実績と結果を見たうえで、学級数を検討されること。

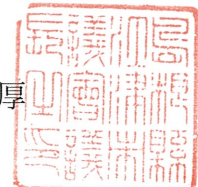
4. 高校再編基本計画の個別計画について

仮に、今後、両校にかかる再編基本計画の個別具体の計画を策定される場合は、策定前に懸念・不安のある問題について慎重に分析・検討され、地域と十分な意見交換をしながら、その解決の方向を示したうえで計画を策定されること。また、教育効果が最大の個別具体の計画とされること。

平成27年6月5日

江 津 市 長 山 下 修

江津市議会議長 藤 田 厚



島根県教育委員会

教育長 藤 原 孝 行 様

要 請 書

